

第2部

わたしの地区の 未来ビジョン

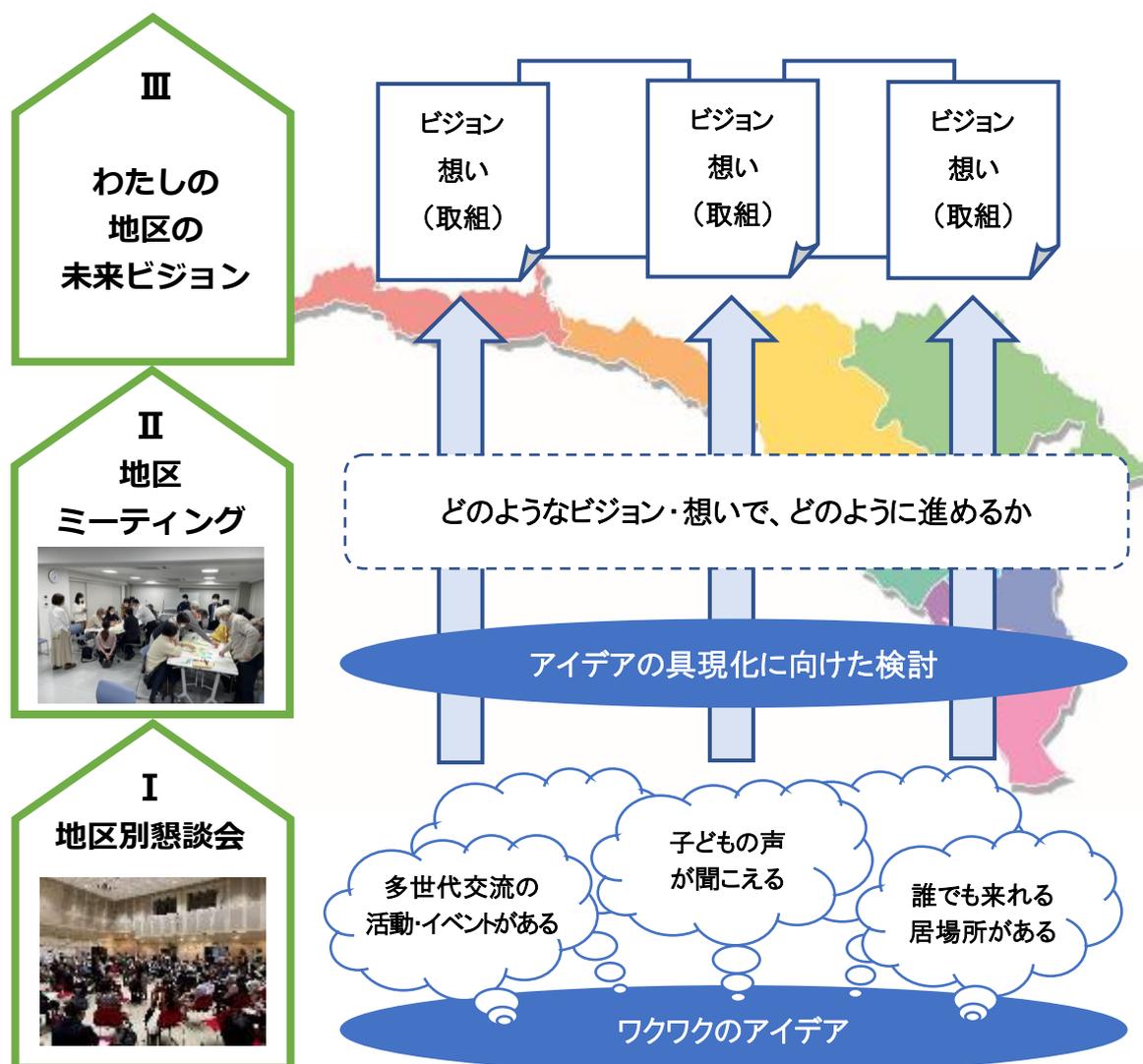
新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、第2部の策定に係る地区別懇談会を2022年度に開催しました。そのため、第2部を2023年3月に策定しています。

第1章 わたしの地区の未来ビジョンの策定まで

町田市は東西に細長く北部の大半は丘陵地、南には平地が広がり、地域による環境の違いが大きいことが特徴です。それぞれの地域では、お住まいの方の年齢層、住宅事情、地理的な条件、活動している団体の数や種類等、一つとして同じ地域はなく、それにより地域の抱える課題やニーズは地域ごとにさまざまです。

そのことから、本プランの基本理念である「地域でささえあい 誰もが自分らしく暮らせるまちだ」を実現するためには、地域ごとに現状と課題を把握し、地域で様々な主体がそれぞれに合った形でつながり、そこで生み出された活力をもとに、地域課題の解決に取り組む必要があります。

そのため、第2部では、地区協議会の10地区それぞれの「わたしの地区の未来ビジョン」を掲載しています。「わたしの地区の未来ビジョン」は、10地区での「地区別懇談会」、市民や地区協議会を構成する地域活動団体、事業者等による少人数規模の「地区ミーティング」を経て、各地区別で策定しました。



(1) 地区別懇談会

地区別懇談会は、市民や地域活動団体、事業者などが集い、日ごろの暮らしや活動の中で感じている地域の良いところや、困りごととその解決のための方向性などを話し合い、地域のみんによる具体的な取組につなげていく懇談会で、2015年度から毎年度実施してきました。

2022年度の地区別懇談会は、8月から12月に10地区それぞれで、新型コロナウイルス感染症による不安がある方でも参加できるよう、会場に加えてオンラインでも同時に開催しました。また、開催にあたっては、これまで課題としていた若年層の参加を促すとともに、地区別懇談会に参加されたことのない多様な方にお集まりいただくため、各地区の地区協議会に、地域にお住まいの方が知っているインフォーマルな情報やお声がけなどのご協力をいただきながら丁寧に参加者を募りました。その結果、幅広い世代の方にご参加いただくとともに、例年の参加者数を大幅に上回る各地区合計617人もの方に参加いただきました。

地区別懇談会当日のプログラムは、参加された方に地区協議会の活動を知ってもらうこと、また参加された方ご自身が地域活動を自分ゴトとして捉え、今後の具体的な活動につなげていくことを目指し構成しました。第1部で地域活動の紹介をインタビュー形式で行い、第2部では5人程度のグループに分かれ、「毎日ワクワクするってどんなまち?」「ワクワクを実現するためにできること」について、ワールドカフェという対話の手法を用いて話し合いを行いました。その結果、各地区では地区の特徴を捉えたたくさんの現実的かつユニークな提案をいただくことができました。



地区別懇談会でいただいた全意見は町田市ホームページからご覧いただけます。



2022年度地区別懇談会の概要

グループ人数	会場では5～6人で1グループ、オンラインでは4～5人で1グループをつくり、対話形式で実施	
ラウンド数	3ラウンド	
話し合い	ラウンド1	・ テーマ(1)『毎日ワクワクするのってどんなまち?』についての話し合い ・ 終了後、参加者は指定の第2ラウンドのグループに移動
	ラウンド2	・ ラウンド1の意見を参考にしながら、テーマ(2)『「(1)での話し合い」を実現するためにあなたができること』についての話し合い ・ 終了後、参加者は最初のラウンド1のテーブルに戻る
	ラウンド3	・ ラウンド2の意見を参考にしながら、テーマ(2)についての話し合い

地区別懇談会（2022年度）の各地区の実施日時・会場・参加者数

地区名	日時 (2022年)	会場	参加者数 (うちオンライン)
南地区	12月18日(日) 14:00～16:00	南市民センター	76人 (8人)
高ヶ坂・成瀬地区	10月23日(日) 14:00～16:00	成瀬コミュニティセンター	53人 (3人)
町田第一地区 (原町田地区)	12月3日(土) 10:00～12:00	町田市民文学館 ことばらんど	30人 (5人)
町田第二地区	12月4日(日) 14:00～16:00	町田市庁舎	46人 (4人)
玉川学園・南大谷地区	9月11日(日) 10:00～12:00	玉川学園コミュニティセンター	77人
木曽地区	10月2日(日) 14:00～16:00	教育センター	60人
忠生地区	11月20日(日) 14:00～16:00	忠生市民センター	54人 (3人)
鶴川地区	11月13日(日) 14:00～16:00	鶴川市民センター	103人 (10人)
小山地区	9月4日(日) 14:00～16:00	小山市民センター	55人 (6人)
相原地区	8月28日(日) 14:00～16:00	堺市民センター	63人 (4人)
計			617人 (43人)

(2) 地区ミーティング

地区別懇談会でいただいたご意見やアイデアをもとに、地域の「できる」「やりたい」を実現し、地域の課題解決につなげていくため、2022年11月から2023年3月に10地区それぞれで、地域にお住まいの方、地区協議会を中心とした地域活動団体、事業者等による少人数規模の地区ミーティングを3回開催しました。

ここでは、これまでつながっていなかった個人や地域活動団体、事業者等が地域への想いを共有し、同じ想いを持つ仲間がチームとなって地区の未来ビジョンを描き、その実現に向けた話し合いを行いました。

ここで生まれた新たなプロジェクトの概要については、第3章のわたしの地区の未来ビジョンの「(3) 地区ミーティングで生まれた新たなプロジェクト」に掲載しております。

地区ミーティングの各回の概要

第1回	<ul style="list-style-type: none"> ・地区別懇談会の振返り ・チームづくり ・チームでの想いやアイデアの共有
第2回	<ul style="list-style-type: none"> ・第1回の振返り ・チーム名の検討 ・企画・アイデア出し
第3回	<ul style="list-style-type: none"> ・第2回の振返り ・未来ビジョンの作成 ・未来ビジョンを実現するためのファーストアクションの検討 ・ファーストアクションに向けた企画検討 ・アクション宣言



相原地区



小山地区



鶴川地区



忠生地区



木曽地区



町田第二地区



町田第一地区



玉川学園・南大谷地区



高ヶ坂・成瀬地区



南地区

コラム

地区協議会って？

地区協議会とは、地区の課題を解決し、地区の魅力を向上するために、様々な団体が集まって知恵を出し合い、協力しながら取り組む、ネットワーク組織です。市内10地区（南、高ヶ坂・成瀬、原町田、町田第二、玉川学園・南大谷、木曽、忠生、鶴川、小山、相原）に分かれて設立されています。

地区協議会は、【町内会・自治会連合会の地区連合会】、【青少年健全育成地区委員会】、【民生委員児童委員協議会】の3団体が必ず参加しています。その他の構成団体は、各地区で異なっており、学校、社会福祉法人、消防団など、様々な団体が参加・協力して活動しています。



地区協議会の活動やその形態は各地区様々で、構成団体の活動の支援や、地区協議会自身が活動の実行メンバーとなっているケースもあります。



第2章 10地区の概要

地区協議会のエリアを基本とした10地区をご紹介します。

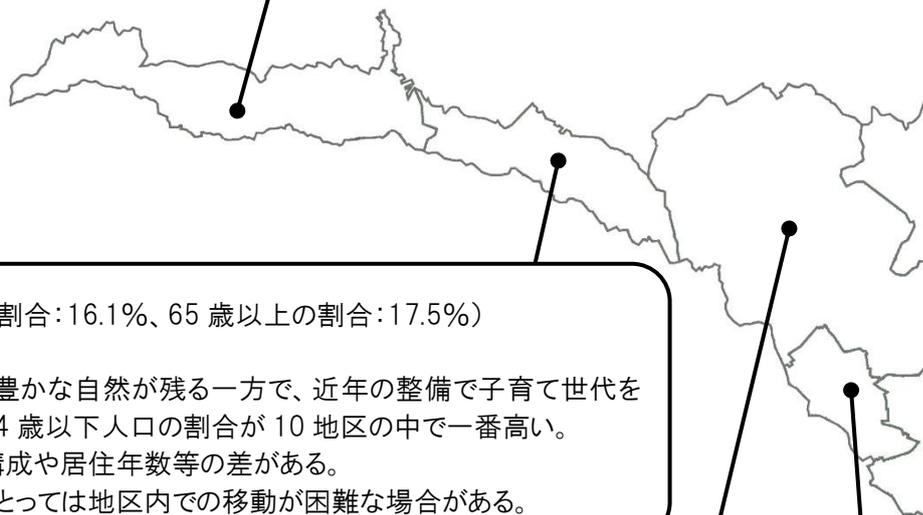
※人口は2022年10月1日現在

10 相原地区 p.146

人口:14,798人(14歳以下の割合:10.5%、65歳以上の割合:31.7%)

<特徴>

- 大半が緑地として保存されている自然豊かな地域である。
- 65歳以上の人口の割合、要介護認定率、人口に占める障がい者の割合が市平均よりいずれも高い。
- 2021年に地区社会福祉協議会が設立されている。



9 小山地区 p.142

人口:32,077人(14歳以下の割合:16.1%、65歳以上の割合:17.5%)

<特徴>

- 歴史ある社寺や郷土芸能、豊かな自然が残る一方で、近年の整備で子育て世代を中心に若い世代が定住し、14歳以下人口の割合が10地区の中で一番高い。
- 小山町と小山ヶ丘で、年齢構成や居住年数等の差がある。
- 高低差が激しく、高齢者等にとっては地区内での移動が困難な場合がある。

7 忠生地区 p.134

人口:52,674人(14歳以下の割合:11.7%、65歳以上の割合:30.6%)

<特徴>

- 北部は多摩丘陵の自然が広がっており、公園や農地等、都市圏にありながらも自然豊かな環境が維持されている。
- 子育て関係と、高齢者・障がい者関係施設が充実している。また、高校が4校、大学が1校ある。
- 65歳以上人口の割合は市平均より上回っている一方で、要介護認定率は市平均を下回っている。

6 木曽地区 p.130

人口:23,345人(14歳以下の割合:11.6%、65歳以上の割合:30.9%)

<特徴>

- 境川沿いの散策路を身近に楽しむことができ、自然と共に暮らすことができる地域である。
- 65歳以上人口、75歳以上人口の割合が市全体よりも高くなっているが、要介護認定率は市全体と同程度となっている。
- 人口に占める障がい者の割合が市内で最も高くなっている。
- 地区内には、木曽住宅、境川住宅と町田第二地区にまたがる町田木曽住宅の3つの団地があり、団地人口の合計は10,934人である。



8 鶴川地区 p.138

人口:90,705人(14歳以下の割合:11.4%、65歳以上の割合:27.3%)

<特徴>

- 自然と調和した閑静な住宅地が広がっている。また、歴史・文化資源が多く残っており、文化の交流の核となっている。
- 2019年に地区社会福祉協議会が設立されている。
- 高齢者・障がい者関係施設だけではなく、教育施設も充実しており、高校が3校、大学が3校、特別支援学校が2校ある。



4 町田第二地区 p.122

人口:53,903人(14歳以下の割合:9.6%、65歳以上の割合:29.9%)

<特徴>

- 町田駅周辺は市街地としてにぎわう一方、落ち着いた住宅地も広がっている。
- 75歳以上人口の割合、要介護認定率、障がい者数の割合がいずれも市平均より高くなっている。
- アパートやマンションが多く、町内会・自治会への加入率が低い。

5 玉川学園・南大谷地区 p.126

人口:31,383人(14歳以下の割合:12.0%、65歳以上の割合:27.5%)

<特徴>

- 地域のほとんどが丘陵地の中にあり、起伏豊かな地域である。
- 住民主体の活動団体が多く、2011年に地区社会福祉協議会が設立されている。
- 学園都市として高校が1校、大学が2校等、教育関連施設が多いが、障がい者関係施設は少ない。

2 高ヶ坂・成瀬地区 p.114

人口:44,022人(14歳以下の割合:11.9%、65歳以上の割合:28.1%)

<特徴>

- 土地区画整理事業による宅地化が進み、緑が多く落ち着いた住宅地である。
- 65歳以上人口の割合が市平均より上回っている一方で、要介護認定率は市平均を下回っている。
- 障がい者福祉関係施設が充実している。ふれあいサロンも多い。

3 町田第一地区(原町田地区) p.118

人口:15,458人(14歳以下の割合:8.7%、65歳以上の割合:19.5%)

<特徴>

- 町田駅周辺には大型店舗と商店街があり、にぎわいの拠点となっている一方で、近隣には公園等の豊かな自然も残されている。
- 15~64歳人口の割合が高く、その他の世代が少ない。
- 公共施設は多いが、高齢者施設・障がい者関係施設は少ない。

1 南地区 p.110

人口:72,788人(14歳以下の割合:12.6%、65歳以上の割合:25.7%)

<特徴>

- 南町田グランベリーパーク駅周辺は大型商業施設を中心に、市外からも人が集まるにぎわいの場となっている。
- 南町田では2014年に地区社会福祉協議会が設立されている。
- 保育園・幼稚園等の子育て関係施設や、ふれあいサロンが充実している。

